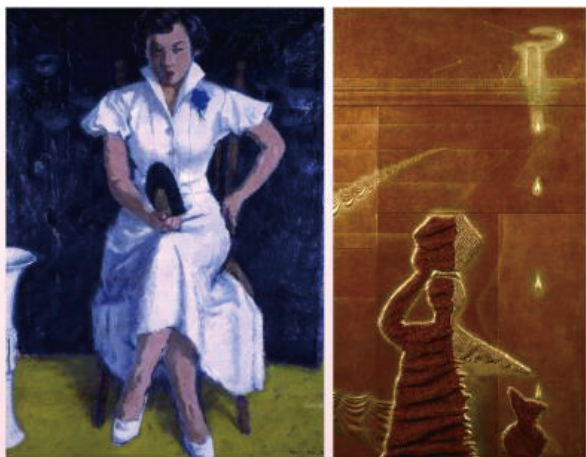


かがやく

ハーモニーひたちなか

Contents

- ハーモニーバス研修 ……………P1,4
- 令和5年度男女共同参画強調月間事業 ……P2
- パパ育休 第2弾 ……………P3



秋冬季所蔵品展

しもだて美術館所蔵の
「彼女」たち

2023 10/7 [土] - 12/17 [日]

開館時間：10:00～18:00 (入館は17:30まで)
休 日：月曜日 (ただし10/9は祝日、翌日休館)
入 館 料：一般210円 / 学生108円以上160円 / 高校生以下無料
桜谷遺山記念館との共通券310円 / 団体(10名以上) 260円

※貸し出しや複製など権利のある作品の貸し出しは有料です。
※毎月第3日曜日(美術館の休館日) 05/15・11/19・12/17は高校生以下のお子様連れの方に観覧は無料です。

関連イベント 金工体験ワークショップ 12/17(日) 10:00～ 美術館敷内 050-4661-6444

主催：筑西市 / 筑西市教育委員会
後援：茨城県

しもだて美術館
Shimodate Museum of Art

〒319-0211 茨城県筑西市7-17-1 (〒319-0201)
Tel: 050-4661-6444 FAX: 050-4661-6444
Email: gallery@shimodate-museum.jp
HP: https://www.city.shimodate.lg.jp/museum/



しもだて美術館

茨城ダルク

ハーモニーひたちなか(※)は、12月12日(火)に筑西方面に視察研修を行い、しもだて美術館と薬物依存症回復施設(茨城ダルク)を訪れました。美術館では女性をテーマとした企画展が開催されており、女性芸術家の地位の向上と独自の表現方法を確認した作品を鑑賞しました。その後を訪れた茨城ダルクでは、代表の岩井喜代仁氏が自身の薬物依存からの回復の経験談、身近にある薬物の危険性など参加者が圧倒されるほどの熱意で語ってくれました。

(4面に関連記事⇒)

※ハーモニーひたちなかは、ひとりひとりが自分らしく輝くことのできる男女共同参画社会の実現のため、市内の団体・グループが市と協力し合って、研修・情報交換・イベントなどを行っている組織です。

令和5年度男女共同参画強調月間事業

ハーモニーひたちなかフォーラム

CHOICE 自分で選ぶための「性」の知識

講師：(株)Rine代表取締役／助産師／性教育YouTuber 大貫詩織（シオリーヌ）さん

11月26日(日)、ワークプラザ勝田多目的ホールにて、YouTubeで大人気の大貫詩織（シオリーヌ）さんより、正しい性教育や性の大切さについてご講演いただきました。日本の性教育の現状やSRHR（※）など幅広い分野についてお話いただくとともに、動画「ユースクリニックへようこそ」を取り上げ、リアルな性の状況を交えながら、学校の性教育では伝えきれないこともお話してくださいました。講演後の質疑応答においても、子どもを持つ親から多くの手が挙がり、皆さん積極的に質問をしていました。



※SRHRとは…英語の「Sexual and Reproductive Health and Rights」の頭文字をとった呼称で、性と生殖について、私たち一人ひとりが適切な知識と自己決定権を持ち自分の意志で必要なヘルスケアを受けることができ、自らの尊厳と健康を守ることができる権利。

権利の具体例…リプロダクティブ・ライツ→子どもを産むか産まないか、いつ・何人子どもを持つかを自分で決める権利。

男女共同参画キャッチフレーズ表彰式を行いました

ハーモニーひたちなかフォーラムの開催にあわせ、男女共同参画キャッチフレーズの表彰式を行いました。今年度は、「大切な人へのメッセージ」をテーマとして募集を行い、応募があった260作品の中から、3作品が選ばれひたちなか市長より表彰されました。



最優秀作

同世代の悩んでいる子へ

「比べなくても大丈夫 自分の個性 それがいい」

（勝田第三中学校2年 大林 志桜奈さん）

優秀作

読んでくれる人へ

「受け取った「優しさ」を周りに分けられる人間に」

（勝田第三中学校3年 堀江 雫さん）

世界みんなへ

「あなたの笑顔は 私とだれかのエネルギー」

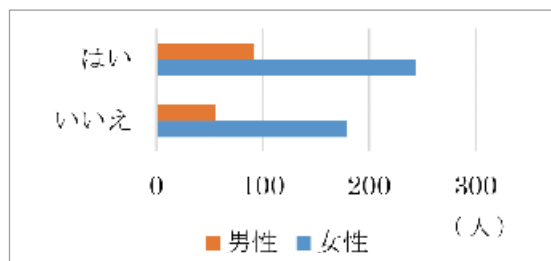
（勝田第三中学校1年 清水 くららさん）

2023 男女共同参画意識調査アンケート

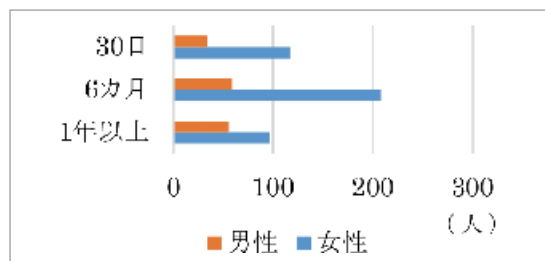
改正された育児休業制度について調査しました

11月4日・5日に開催した消費生活+ハーモニー展で、2022年に改正・施行された育児休業制度が皆さんにどの位知られているのか、ハーモニーひたちなかがシールアンケートを実施し、571人の方から回答を頂きました。アンケートやコメントから見えたのは、必要な制度ではあるが、法令を作って終わりではなく、いかに利用しやすい環境を整えるかが重要であると改めて感じました。

設問① 改正された育児休業制度をご存じですか？



設問② パパの育休はどれくらいあったら嬉しいですか？



アンケート参加者から寄せられたコメント



制度はできても
取りやすい環境では
ないなあ



育休があると
やっぱり
助かるよ



育休制度は
あってもまずは夫婦の
コミュニケーションが
大切

変わる 男性育休!

前号に引き続き熊谷パパに育休を 1年間とった感想を聞いてみました。



Q. 育休を取得してみたの感想は



1年間を通して子どもの日々の成長をみる事ができたこと、親として成長できたことがよかったです。常に一緒にいるので、おむつを替えてほしくて泣いているのか、おなかが空いて泣いているのかかわかるようになりました。また、妻が仕事に復帰した後は、自分が主夫となり育児休業給付金を利用したことで、家計的にはだいぶ助かりました。

Q. 育児と仕事はどちらが大変ですか



どちらも大変ですが、初めて経験することが多かったので育児のほうが大変でした。ずっと見守らなくてはならないので、気を抜く時間がなく常に目配りを怠らないようにしました。ただ、子どもが寝た後は、自分の時間や妻との時間を取ることも大切にしました。

Q. 復帰した後の不安は



4月から保育園に預ける予定なので、病気の時のお迎えや看病が不安です。幸い自分の両親が市内居住なので、自分や妻が迎えに行けない場合は協力をお願いしています。

Q. 子育てで大事なことは



体も心も元気であることが、一番大事なことだと思います。

Q. 育休取得について考えている人に対して伝えたいこと



育休は長い期間でなくても、生後1か月間は妻の体も大変な時期なので育休を取ってサポートしてあげてほしいです。



従来の働き方にとらわれず、
家事・育児に奮闘する熊谷パパの
活躍を応援してください!

●「かがやく」バックナンバーもご覧ください

男女共同参画講座

「サクッと簡単!ポリ袋で防災食を作ろう」を開催しました

講師:ポリCOOK® 代表 森下 園子さん

11月30日(木)、講師である森下さんご指導の下、ポリ袋を使い、ご飯やツナトマトスープパスタなど5品の料理を作りました。また災害時の食事づくりに必要な備えや食品備蓄の必要性について話していただきました。参加者からは「とても簡単に作ることができるので、災害時だけでなく普段の生活においても作れる」という声もあり、日常にも役立つ防災食講座でした。



ハーモニーひたちなかバス研修を終えて

今年度のバス研修は筑西方面を視察しました。午前中はしもだて美術館で女性たちをテーマとした作品並びに若く気鋭のある女性芸術家による作品などを鑑賞後、結城市にある茨城ダルク(※)を訪れました。元薬物依存者の当事者でもある代表の岩井氏の話では、薬物依存になるきっかけの一つは、社会から必要とされていないという寂しさからの逃避だそうです。ダルクでは、これまでのことやこれからのことで悩むのではなく、「今日一日だけを充実した日をおくる」ことに皆が専念するそうです。社会復帰に向けた生活訓練やミーティングを行い、入居者同士協力しながら共同生活を営んでいます。

最後に岩井氏から「依存者を孤立させない、社会も依存者を見捨てないことが大切、誰もが薬物依存者になる可能性がある」とメッセージがありました。ダルクの活動は誰ひとり取り残さない社会の実現を目指しているSDGsにつながるものと感じるとともに、男女共同参画社会の実現を目指すハーモニーひたちなかの活動にも通じるものがあると感じました。



※ダルクとは薬物依存者のために作られた施設です。Drug (ドラッグ) Addiction (依存症、行動嗜好) Rehabilitation (リハビリ) Center (施設)の文字の頭文字をとってDARC(ダルク)といいます。



以前報道された新宿のオールジェンダートイレとは違い、横一列に個室が並んでいる。文化の違いかもしれないが、日本でも普及されるのかなと思ったあと美術鑑賞に勤しむのであった。

昨年、米国旅行の際に美術館を訪れたときのこと。トイレに行きたくなり見つけたところ、男性も女性も一緒に列をなして待っている。不思議に思い表示を確認するとオールジェンダーの標記。自分が困惑するなか、みんな平然と並んでいる。

編集者の
つぶやき

「かがやく」の
バックナンバー
はこちら

